

又形勢ナリ委細文」

其後六月十八日午後六時ヨリ東京丸ノ内會館ニ於テ、渡邊鏡藏、膳桂之助兩氏ノ主催ニテ勞資懇談會ガ開催セラレ組合會議側トシテハ、松岡駒吉、米窪滿亮、堀内長榮、齋藤健一、山川宗彬、渡邊年之助、池上榮吉、河野密、嶺慶二ノ諸氏出席、組合會議側カラハ松岡、米窪、河野、嶺ノ四氏ガ發言大要左ノ如キ趣旨ヲ高唱シタ。

「産業協力ハ吾々ノ主張スル所デアツテ、我々ハ産業協力ニヨツテ日本ノ産業ノ健全ナル發達ヲ促進シ併セテ勞働條件ノ改善ヲ計ラントシテキル。然ルニ資本家側ハ表面ハ之ニ賛意ヲ表スルモ實際ニ於テハ勞働組合ト協力スルコトヲナサズ、却ツテ或ルヒハ勞働組合ノ組織ノ攪亂ヲ策シ、或ハ會社組合ヲ作ツテ自主的ノ勞働組合ニ對抗セシメツ、アル。此ノ事實ハ眞ノ産業協力ノ精神ニ背クモノデアアル。資本家側モ今後組合會議ヲ信頼シテ協力シテ實ヒ

タイ」云々

之ニ對シ資本家側ノ代表者ハ

「御趣旨ニハ至極同感デアアル。然レ今日ノ情勢上日本ノ勞働者ノ代表トシテ組合會議ノモヲ認メルコトハ困難デアアル。我々ハ國家主義若クハ日本主義ノ勞働團體モ又實際上カラ會社組合モ協力ノ相手トセナケレバナラヌノデ組合會議モ今後此等ノ勞働團體トモ廣ク提携スル様ニ考ヘテ欲シイ」云々

尙菊川代表ヨリ「十八日ノ勞資懇談會ノ内容ヲ知ラセ」トノ來電アリタルヲ以テ、折返レ「勞資懇談會ノ將來多量ナリ」ト打電セリ。

(八) 海員協會ノ組合會議役員變更ノ件

海員協會ノ從來ノ常務理事尾崎麟太郎氏ガ辭任シ、新ニ常務理事(會長ト改ム)トシテ小泉秀吉氏ガ就任ニ決シタルヲ以テ、組合會議執行委員ハ尾崎氏解任シ小泉氏ガ就任セリ。